

スギ花粉症の時季到来

八幡クリニック 院長
黒澤保宏 先生

平成 29 年も 2 月半ばを過ぎ、いよいよスギ花粉症の時季がやってきました。群馬県南部・太田地域のスギ花粉飛散開始は 2 月下旬と予測されています。飛散量は例年並みかやや少なめとのことですが、それでもスギ花粉症でお悩みの皆さんには大変憂鬱な季節になります。

今や国民の約 25%がスギ花粉症に罹患しており（群馬県はさらに高く罹患率は約 32%）国民病とも言われていますが、その治療法には進歩はあるもののあまり代わり映えしていません。花粉の回避、薬物療法、アレルゲン免疫療法、手術療法など。3 年ほど前からスギ花粉症に対する舌下免疫療法が保険適用になり長期寛解も期待できるため、話題になりましたが残念ながら速効性はありません。レーザー手術は鼻閉には効きますがその他の症状にはあまり効果的でないと言われています。

マスクや眼鏡、花粉症グッズによる花粉の回避にも限界があり、結局この時季は対症療法としての薬物療法に頼ることになります。以前は予防投与と称して花粉飛散開始の 2 週間前から内服を始めると良いと言われていましたが、今の鼻アレルギー診療ガイドラインでは花粉飛散開始時あるいは症状出現時から内服や点鼻薬を始めれば（初期療法と言う）十分に効果が得られるとされています。近年はアレルギー症状発症メカニズムのいろいろな部位をブロックする内服薬が次々と開発されておりそれらを単独または組み合わせて使い、さらに点鼻薬や点眼薬を併用することで日常生活に大きな支障を来すことなく生活できるようになっています。

スギ花粉が飛び始めます。症状が出始めたら早めにかかりつけ医と相談し、自分に合ったお薬を見つけて今年のスギ花粉症の時季を上手に過ごしていただきたいと思っております。